

《Lesson 4》 be 動詞の疑問文: be 動詞 + 主語 + ○○?

【be 動詞の疑問文: 基本的な形】

be 動詞 + 主語 + ○○?

「主語は○○ですか」「主語は○○でしたか」

<例>

- (1) あなたは生徒ですか? → Are you a student?
- (2) 彼は英語の先生ですか? → Is he an English teacher?
- (3) これらの机は高かったのですか? → Were these desks expensive?

【be 動詞の疑問文の作り方】

- (1) be 動詞の「肯定文」を作る。
- (2) be 動詞を文頭に持ってきて、最後を?に変える。

<例 1: あなたは生徒ですか?>

1. be 動詞の肯定文を作る。 → あなたは生徒です。

You are a student.

2. be 動詞を文頭に持ってきて、最後を?に変える。

Are you a student?

<例 2: これらの机は高かったのですか?>

1. be 動詞の肯定文を作る。 → これらの机は高かったです。

These desks were expensive.

2. be 動詞を文頭に持ってきて、最後を?に変える。

Were these desks expensive?

【be 動詞の疑問文: 答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の 2 種類。

Yes, *代名詞 be 動詞 .

No, *代名詞 be 動詞 not .

am 以外の場合は be 動詞 + not の短縮形を使うのが一般的。

<例> aren't / isn't / wasn't / weren't

*ここでいう代名詞は、I / you / we / they / he / she / it 。

<例 1> Are you a student?

はい → Yes, *I am.

いいえ → No, *I am not.

* Are you ~? (あなたは~?) という疑問文では、答える時に I (私は) を使うので注意。
この質問をされている状況を想像するのが大事。

<例 2> Were these desks expensive?

はい → Yes, they were.

いいえ → No, they weren't. (No, they were not.)

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。